

令和 8 年度 下水道事業会計予算基本方針

滝沢市の下水道使用料収入は令和 3 年度をピークに減少傾向で推移していましたが、令和 6 年度は前年度並みの使用料収入となっており、令和 7 年度の上半期（4～9 月）についても前年度の同期をわずかに上回っています。

しかし、市の人口は今年度に入っても依然として減少傾向にあり、現状では下水道使用料の大幅な増収は見込まれません。計画値との比較では、滝沢市下水道事業経営戦略における令和 7 年度下水道使用料の計画値は 526,875 千円であり、現時点においては計画値を 12,782 千円下回る見込みです（▲2.4%）。

【滝沢市の人口の推移】

年度	9 月末人口（人）	前年同月比（人）	前年同月比（%）
令和 3 年度	55,668	144	0.3
令和 4 年度	55,377	▲291	▲0.5
令和 5 年度	54,988	▲389	▲0.7
令和 6 年度	54,505	▲483	▲0.9
令和 7 年度	53,994	▲511	▲0.9

【下水道使用料の推移】

年度	決算値（税抜）	前年度比（円）	前年度比（%）
令和 3 年度	525,925,985	5,823,136	1.1
令和 4 年度	521,839,155	▲4,086,830	▲0.8
令和 5 年度	513,322,000	▲8,517,155	▲1.6
令和 6 年度	513,514,130	192,130	0.0
令和 7 年度（見込）	514,093,475	579,345	0.1

今後も現状での使用料収入の大幅な増加は見込まれない一方、国の補助金の内示率の低下や物価高騰・人件費の上昇等による費用面の増加など、厳しい経営状況が継続することが見込まれます。

第 2 次滝沢市総合計画における都市政策部門として掲げる政策「ひとにやさしく、誰もが快適かつ安全・安心に暮らせるまち」を実現するため、以下の方針、ポイントを踏まえて令和 8 年度の予算を編成し事業を進めていきます。

- ・市の人口や汚水量の推移、社会情勢の変化・予測を考慮した下水道使用料の見積精査
- ・使用料収入、物価上昇等に配慮した上で、適切で効果的な施設整備・更新事業、維持管理事業の実施
- ・なお一層のコスト意識を持ち、使用料収入の増収、汚水処理費の減少の視点を持った事業経営

令和8年度の主な事業

公共下水道（汚水・雨水）と合併処理浄化槽を適切な役割分担で計画的に整備を進めると共に、既存施設の老朽化対策として、長期的な計画を策定する必要があります。また、汚水処理事業を将来に渡し、安定・持続させるため、効果的な資源の投下、採算性を考慮した事業を実施してまいります。雨水排水施設整備については、大釜排水区において雨水幹線整備を進めてまいります。

【公共下水道事業関係】

■下水道整備事業（汚水）

公共下水道の未普及対策として、事業計画区域のうち未整備となっている箇所の管渠整備工事を行います。また、ウォーターPPPについて、導入の可能性調査を行います。

- ・砂込第一処理分区管渠整備工事 L=121m
- ・ウォーターPPP 導入可能性調査 N=1 式

<水洗化率>

年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値 (%)	97.5	97.5	97.5	97.5
実績値 (%)	96.1	97.3	—	—

■下水道改築事業（汚水）

ストックマネジメント計画に基づき、鶉飼西地区の污水管改築工事のほか、マンホールポンプ改築や蓋交換工事を行います。また、ストックマネジメント計画の全体計画策定や不明水対策の実施計画策定を行います。

- ・鶉飼西地区污水管改築工事 L=33m
- ・穴口第3、耳取、巣子第6マンホールポンプ改築工事 N=3 箇所
- ・鶉飼西地区マンホール蓋交換工事 N=30 箇所
- ・鶉飼西地区舗装復旧工事 A=150 m²
- ・ストックマネジメント計画策定業務 N=1 式
- ・不明水対策実施計画策定業務 N=1 式

■滝沢市水洗便所改造資金利子補給事業（汚水）

排水設備工事に係る改造資金を金融機関に融資斡旋し、利子を補給することにより、公共下水道への早期の接続を促進し、生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するとともに環境衛生の向上を図ります。

- ・水洗便所改造資金融資斡旋利子補給金

継続分 2件

新規融資斡旋見込 未定

■雨水整備事業

大釜排水区の雨水排水施設整備を継続して進めます。

- ・雨水排水施設整備工事(U3300×2000) L=26m

<雨水排水施設整備面積>

年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値 (ha)	270	270	285	285
実績値 (ha)	269	270	—	—

【合併処理浄化槽事業関係】

■合併処理浄化槽設置整備補助事業

合併処理浄化槽の設置を促進し、快適で文化的な生活環境を提供するとともに、公共用水域の水質保全及び公衆衛生の向上を図ります。

<合併処理浄化槽補助設置基数>

人槽	基数	単価（新築住宅）	単価（既存住宅）
5人槽	33基	414,000円	510,000円（予定）
7人槽	15基	474,000円	590,000円
10人槽	2基	660,000円	820,000円

※循環型社会形成推進交付金交付取扱要領における基準額変更に伴い、R8.4.1から5人槽に係る単価を変更予定。

■滝沢市水洗便所改造資金利子補給事業

合併処理浄化槽設置工事に伴う、くみ取り便所から水洗便所への改造資金を金融機関に融資斡旋し利子を補給することにより、合併処理浄化槽の普及を促進し、生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するとともに環境衛生の向上を図ります。

- ・水洗便所改造資金融資斡旋利子補給金
新規融資斡旋見込 1件

【下水道事業経営関係】

■次期下水道経営戦略の策定

現行の下水道経営戦略（計画期間：平成29年度～令和8年度）の内容を見直し、下水

道事業を取り巻く環境の変化へ対応し、将来にわたり安定・安心な下水道経営を持続するための新たな計画を策定します。

■顧客サービスの向上と効果的な情報発信

上下水道広報誌「ちゃぐ水だより」の発行（年2回）、ホームページの随時更新による利用者への適切で効果的な情報発信を行います。

■人材育成と組織力の強化

- ・技術系職員の継続的な確保と知識・技術の継承
- ・積極的な研修の受講による効果的な人材育成